

公表	事業所における自己評価総括表
----	----------------

○事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービス羽ばたき			
○保護者評価実施期間	令和7年 1月 15日 ~ 令和7年 2月 25日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	17人	(回答者数)	15人
○従業者評価実施期間	令和7年 1月 15日 ~ 令和7年 2月 25日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7人	(回答者数)	7人
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 3月 10日			

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	「座っている事が出来る」から始まり、物の認識・言葉の理解・食事動作など日常生活動作の習得を主な療育と考えており、実施しています。	発達を進捗状況を注視し、その時々で職員間で話し合い、療育内容を試行錯誤しながら療育を実施しています。	療育を行う職員の更なる知識の向上と、情報共有の徹底を図る為、様々な研修を行っていきたい。
2	職員が元小学校教頭、保育士、幼稚園教諭、介護福祉士の資格を有し、日常生活動作を含め、様々な支援をきめ細かく提供しています。	日々、職員間で話し合い、情報共有を行いながら、利用者一人一人に求められている支援を改めて確認し、工夫しながら療育を行っています。	今後も保護者様に、成長の進捗状況を報告し、御家庭での過ごし方等を一緒に考察していきたい。
3	訓練室の専有スペースが広い為、室内で自由に体を動かしてもらえます。又、庭園には芝山もあるので、天気の良い日には遊んで頂けます。	日常生活動作及び他の療育とは別に自由(遊び)時間を設け、メリハリをつける工夫をしています。	お子様の特性に合わせ、今後は体幹トレーニングや他の運動機能向上に繋がる様なプログラムを作りたい。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域交流の実施	地交流の場への積極的な参加及び開催等が実行出来ていなかった。	地域交流に繋がるイベント等への参加、又は事業所としての開催等を検討。
2	12月~2月は寒さの為、なかなか外出等のイベントが出来ていなかった。	風邪を初めとする様々な感染症を警戒するあまり、外出イベント等を組めなかった。	冬場は防寒、感染症対策(マスク着用・手洗いの更なる励行)を施し、室内等で利用できる施設を探し、外出イベント等を行いたい。